図書館の窓から

長岡市立中央図書館館報　№175

2022
冬号

団らん

雪深くなるこの季節は、家にいる時間が自然と長くなるものです。そんな季節だからこそ、親しい人と過ごす団らんのひと時を読書で楽しんでみてはいかがでしょうか。

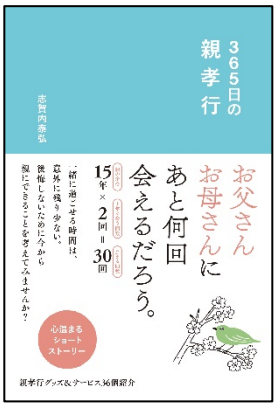
『月の砂漠をさばさばと』

北村 薫／著 新潮社

９ 歳のさきちゃんは作家のお母さんと二人暮らし。二人が交わす何気ない会話の数々から、家族で過ごす時間の温かみが伝わってきます。可笑しくて、少し切ない 12 編のちいさな物語。日常の中のささやかな幸せを感じさせてくれます。

『365日の親孝行』

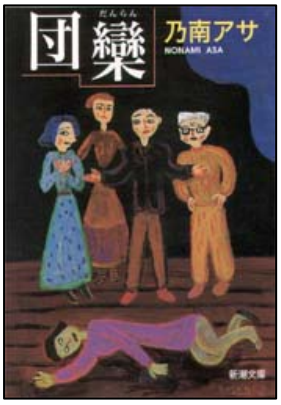
志賀内 泰弘／著 リベラル社



日常生活で簡単にできる親孝行のアイデア 365 個を紹介。「親孝行って何をしたらいいのかわからない」そんな方へオススメの１冊です。親と過ごす大切な時間の中で、今自分にできることは何か考えてみませんか。

『団欒』

乃南 アサ／著 新潮社



刺激的な「家族」小説はいかがでしょうか。義母との奇妙な同居生活を描く「ママは何でも知っている」や、二世帯同居中の老爺の家に理想の家族がやってくる「出前家族」など、ブラックユーモアあふれる短篇５編を収録。ホラー小説を読んでいる気分になります。

『アガワ家の危ない食卓』

阿川 佐和子／著 新潮社

「食」にちなんだ阿川家の日々を綴ったエッセイ。ほろ苦い思い出や、クスリと笑える出来事まで様々なエピソードが楽しめます。軽快な阿川節で語られる文章の中に、美味しそうな料理の数々や、食卓を囲む家族の情景がみえてきます。

＊このページで紹介した本は、中央図書館一般コーナー入口付近に展示しています。ぜひご利用ください！

大きな活字の本

歴史時代小説文庫

中央図書館の一般コーナー入口近くに「大きな活字の本」と「歴史時代小説文庫」が並んでいます。大きな活字の本（大活字本）とは、大きな文字で見やすく印刷された本のことで、小さな文字が見えづらい方や、弱視の方にも読みやすい本です。その隣には、時代小説の文庫本を集めた棚があり、どちらも人気のコーナーになっています。

また、時代小説文庫は館内マップに「J」と記載されており、マップで本の場所を探すときの目安としてご活用ください。

こんな本があります

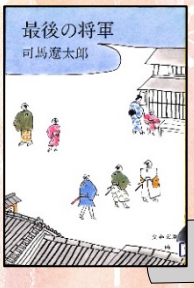
大活字

このシールが目じるし

『ノモンハンの夏』
半藤　一利／著　（3分冊）
埼玉福祉会
底本『ノモンハンの夏』
文春文庫

真珠湾攻撃から二年、旧満州国陸軍の暴走によって勃発したノモンハンの悲劇を、圧倒的な迫力で描いています。

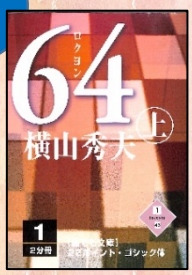
『最後の将軍』
司馬　遼太郎／著
文芸春秋



このシールが目じるし

最後の将軍こと第十五代征夷大将軍徳川慶喜を描いた歴史小説。動乱の時代を生きた、人間味あふれる将軍の姿に引き込まれます。

大活字



『64』　横山　秀夫／著
大活字文化普及協会　（4分冊）
誰でも文庫
底本『64』 文藝春秋

ある誘拐事件をきっかけに、D 県警刑事部と刑務部の確執の狭間で苦しむ一人の広報官。映画化された作品は、長岡がロケ地の一つになっています。

『情に泣く』 細谷　正充／編
宇江佐　真理　北原　亞以子
ほか／著
朝日新聞出版

江戸の市井の人々が織りなす人情の機微を、時代小説の名手たちがオムニバス形式で描いた、心に染み入る七つの物語。

拡大読書器のご案内

中央図書館の視聴覚コーナーに、拡大読書器が設置されています。見えにくい時や読みづらい時に、大きな画面に映して字の大きさを調節しながら本を読むことができます。お申し込みの必要はなく、空いていればいつでもご利用いただけます。

図書館豆知識　No.1　　ごぞんじですか？貸出レシート

貸出時にお渡しする「貸出レシート」に注目してみませんか？レシートには、貸出館、貸出日、返却期限、資料名などが記載されています。

【貸出レシート】（例）

①長岡市立中央図書館　　②2022年1月4日
③貸出カード番号：○○○○○○○

【今回ご利用の資料】

●資料名	返却期限
④★なぜ僕らは働くのか	1.18
峠	1.18

計２点　です。

★は次の予約のある資料です。
期限内でのご利用をお願いします。

⑤中央図書館　　0258-32-0658
⑥貸出延長専用電話　0258-32-4946

①借りた図書館名
②借りた日
この日から２週間本を借りることができます。
③「貸出カード」のバーコードの下の７桁の数字
④★マークが付いた資料には次に予約をしている方がいます。
⑤貸出した図書館の電話番号
⑥貸出延長専用電話
借りている資料は、１度だけ貸出期間を最長２週間延長することができます。ただし、予約の方がいる場合はできません。
受付時間：中央図書館開館日（9:30～19:00）
また、貸出延長は、窓口やインターネット（パスワードが必要）でもできます。

このように、貸出レシートには大切な情報がたくさん載っています。返却時にレシートは必要ありません。読書の記録として使用するなど、ぜひお役立てください。

※「館長通信」は図書館のフェイスブックに随時掲載します。

中央図書館所蔵資料紹介　No.171　　五十嵐　浚明　画

五十嵐浚明は江戸時代中期、活況を呈していた新潟湊で生まれ、30代で本格的に絵師になるべく江戸をめざします。狩野派の門下となり、多くの技術を学んで帰郷しました。その後京都で腕を上げ、天皇から授けられる「法眼」という称号を得て、再び帰郷します。それからも画業に励み、78歳で天皇に画を献上し、時の長岡藩主・牧野忠精から褒美を与えられました。

この作品は、左側から「松と波と鶴」「寿老人」「梅と鶴」を描いた三幅対になっています。寿老人は南極星の化身で長寿を司るものとされ、また左右幅の二図それぞれともに吉祥の証しがあらわされています。

寿老人がまとう衣の色や鹿の背にある霊芝など、淡い色使いのなかにもおごそかな雰囲気が感じられ、新年のはじめにふさわしい秀作です。　　（小熊よしみ）

☆１月４日（火）～１月30日（日）中央図書館エントランスギャラリーで展示します。

中央図書館　イベント・おしらせ　1月～3月

新型コロナウィルス感染拡大の状況によりイベント等は変更になる場合があります。ご了承ください。

文化講座　「生誕130年松岡譲と漱石山房（そうせきさんぼう）」

夏目漱石から「越後の哲学者」と評された松岡譲と漱石山房との関係や、「松岡・半藤家資料」など関連する所蔵資料の紹介、松岡譲に関するエピソード等をお話しいただきます。

●日時：２月19日（土）14:00～15:30
●講師：今野　慶信さん（公益財団法人新宿未来創造財団
　　新宿区立漱石山房記念館主任学芸員）
　　※オンライン形式のため講師は来場されません。
●対象：高校生以上
●会場：中央図書館２階　講堂
●定員：80人（先着）参加費無料
●申込：1/18（火）午前９時30分から
　　中央図書館窓口・電話・ホームページで受付

松岡　譲

読み聞かせボランティア養成講座

「絵本と子どもの発達」

●日時：3月13日（日）13:30～15:00
●講師：白神（しらが）　敬介さん（上越教育大学准教授）
　　※オンライン形式のため講師は来場されません。
●対象：高校生以上
●会場：中央図書館２階　講堂
●定員：各日80人（先着）参加費無料
●申込：2/19（土）午前９時30分から
　　中央図書館窓口・電話・ホームページで受付

長岡市子ども読書活動推進計画
～ずっとかたわらに本のある暮らしを～

図書館資料に親しむ初心者向け講座

「くずし字を読んでみよう　～徒然草の世界～」

図書館所蔵の『つれづれ草賞旨（ぐさかんし）』をテキストにワークショップ形式で行います。

●日時：3月10日（木）10:30～正午
●講師：小熊　よしみ（当館貴重資料解読員）
●対象：高校生以上
●会場：中央図書館２階　講座室１
●定員：28人（先着）参加費無料
●申込：2/22（火）午前９時30分から
　　中央図書館窓口・電話で受付

映画会

（中央図書館２階講堂
入場無料・申込み不要　定員87人先着
開場は上映開始時間の30分前から）

1/14（金）　スープ・オペラ
14：00～16：05　2010年/日本（人間ドラマ・119分）

1/29（土）　グリーンブック
14：00～16：15　2018年/アメリカ（人間ドラマ・130分）

2/8（火）　家康、江戸を建てる
14：00～16：30　2019年/日本（時代劇・145分）

東日本大震災を忘れない
3/6（日）　遺体　明日への十日間
14：00～15：50　2013年/日本（人間ドラマ・105分）

3/25（金）　荒野にて
14：00～16：10　2017年/イギリス（人間ドラマ・122分）

特別図書整理のため　長期休館いたします．

各館の休館日は下記のとおりです。

館　名	休館する期間
中央図書館	2/14（月）～ 2/18（金）
互尊文庫・西・南・北	2/21（月）～ 2/25（金）
中之島・寺泊・大河津・栃尾	2/24（木）～ 2/28（月）

令和４年１月１日　長岡市立中央図書館　編集・発行
長岡市学校町1-2-2　℡ 0258-32-0658
mail：nagaoka@lib.city.nagaoka.niigata.jp

図書館からのお知らせに関するフェイスブックはこちら

蔵書検索ができる！ホームページはこちら